自然が未来
TOEX
東洋エクステリア

フリーポートⅡ　取付説明書

■施工される方へのお願い

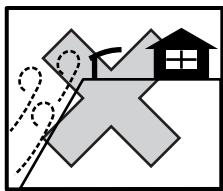
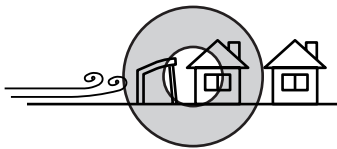
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注　意

●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項を厳守してください。

〔設置条件〕

・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
・フリーポートⅡ（一般地域用600タイプ）は積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。

・風当たりの強い場所に設置する場合や、サイドパネルを取付ける場合は、サポートで製品の補強をした上、風にあおられないよう前枠を建物側に向けて設置してください。（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い、または風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）

〔部材の固定〕

・タッピンネジの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・必ず指定の組立てネジ・ボルトで固定してください。

〔基礎〕

・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日〜1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

〔施工〕

・取付けは、専門業者の方が行なってください。
・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

●水漏れのおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

〔シーリング処理〕

・指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

●製品腐食のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

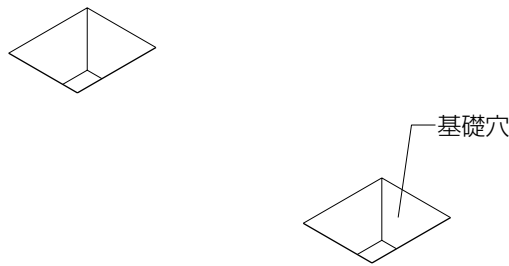
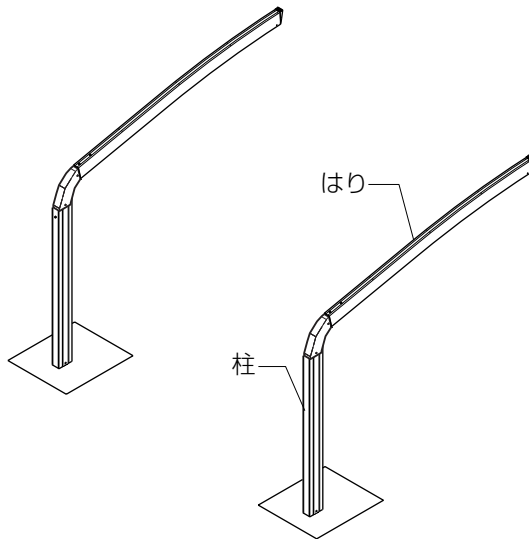
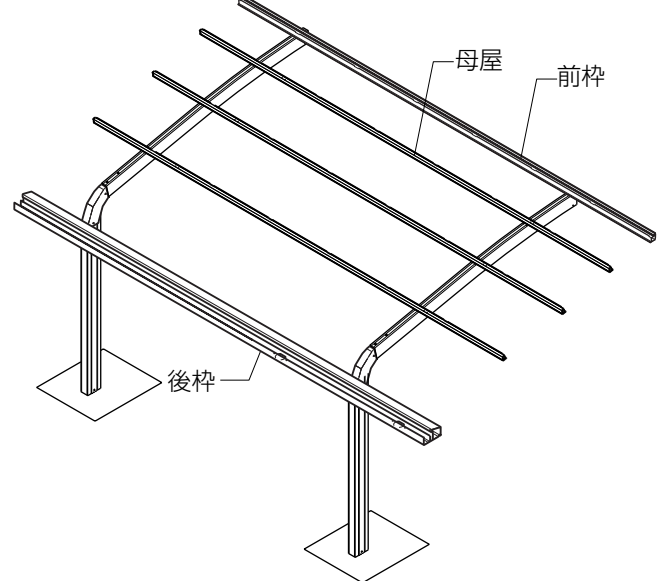
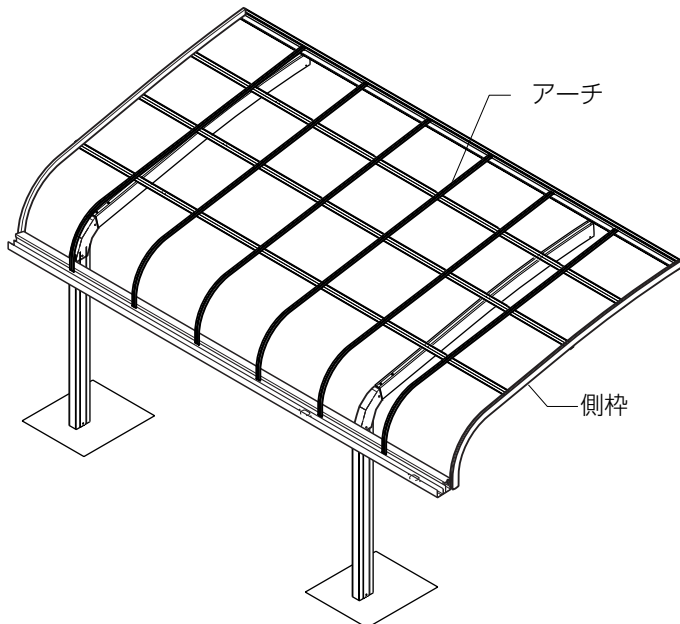
〔絶縁処理〕

・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■施工上のお願い

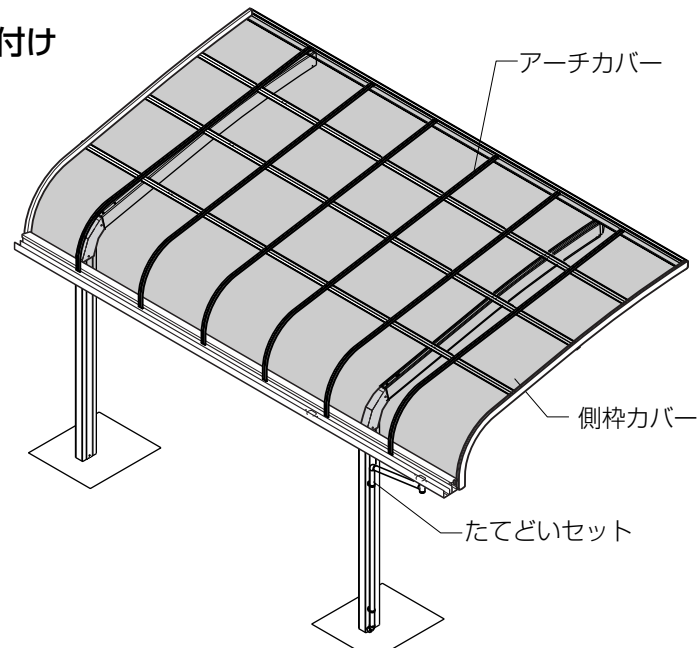
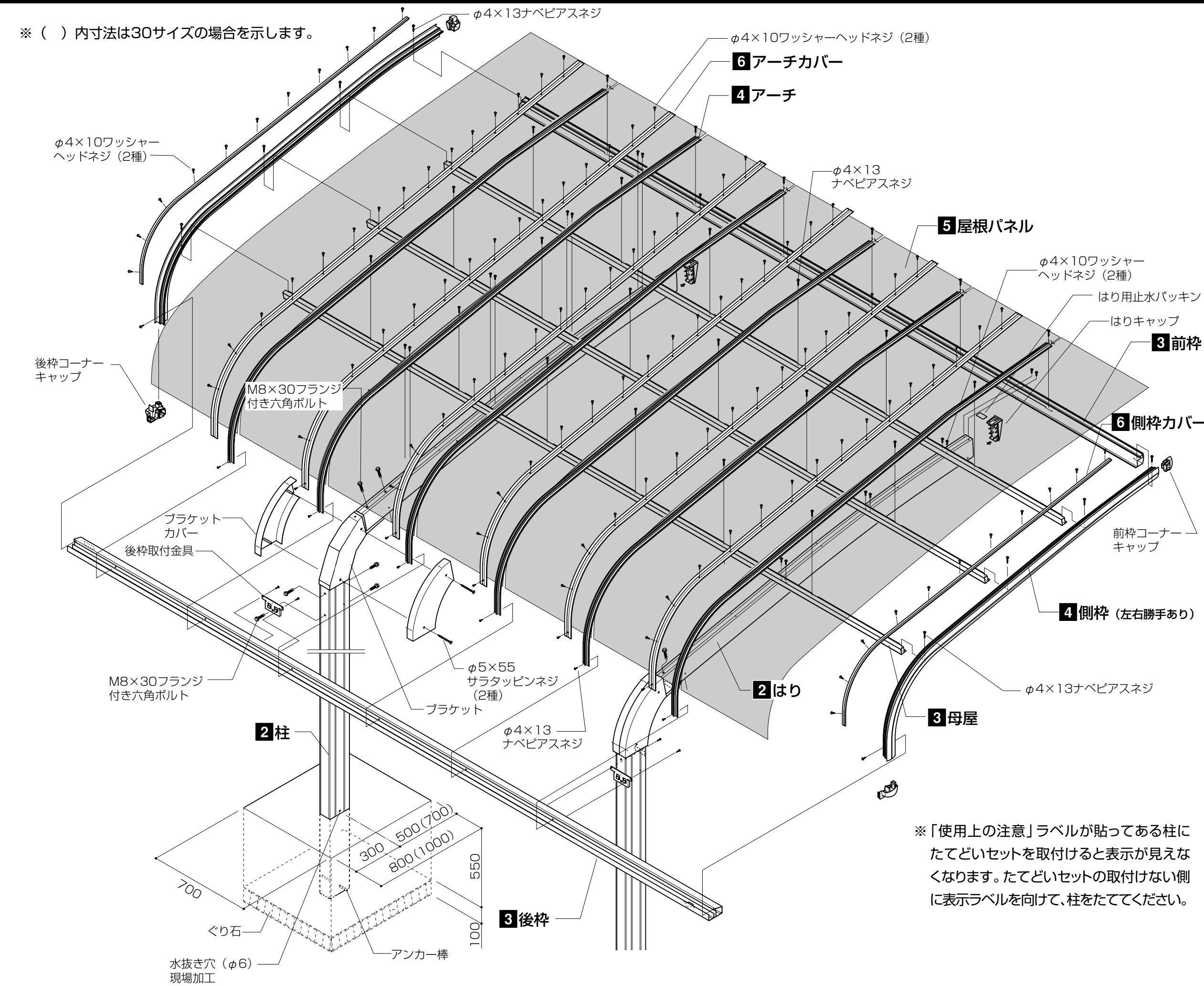
●水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

■取付け順序

1 基礎の施工

2 柱とはりの取付け

3 前枠・母屋・後枠の　取付け

4 側枠・アーチの取付け

5 屋根パネルの取付け
6 アーチカバー・側枠カバーの取付け
7 たてどいセットの取付け

■構造説明図

※（　）内寸法は30サイズの場合を示します。

φ4×13ナベピアスネジ
φ4×10ワッシャーヘッドネジ（2種）
6 アーチカバー
4 アーチ
φ4×10ワッシャーヘッドネジ（2種）
φ4×13ナベピアスネジ
5 屋根パネル
φ4×10ワッシャーヘッドネジ（2種）
はり用止水パッキン
はりキャップ
3 前枠
6 側枠カバー
後枠コーナーキャップ
M8×30フランジ付き六角ボルト
ブラケットカバー
後枠取付金具
前枠コーナーキャップ
4 側枠（左右勝手あり）
φ5×55サラタッピンネジ（2種）
ブラケット
M8×30フランジ付き六角ボルト
2 はり
φ4×13ナベピアスネジ
φ4×13ナベピアスネジ
3 母屋
2 柱
300　500（700）　800（1000）　550　700　100
ぐり石
アンカー棒
水抜き穴（φ6）現場加工
3 後枠

※「使用上の注意」ラベルが貼ってある柱にたてどいセットを取付けると表示が見えなくなります。たてどいセットの取付けない側に表示ラベルを向けて、柱をたててください。

■取付け詳細（基本タイプ）

1 基礎の施工

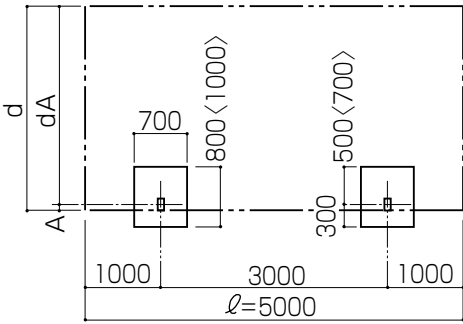
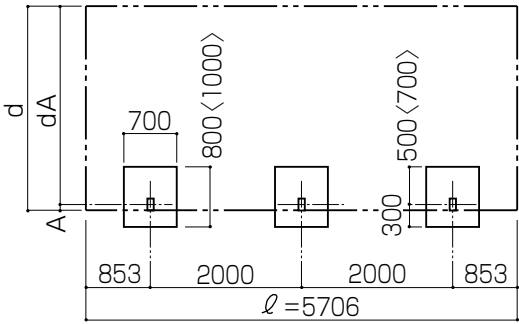
●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

■墨出し位置

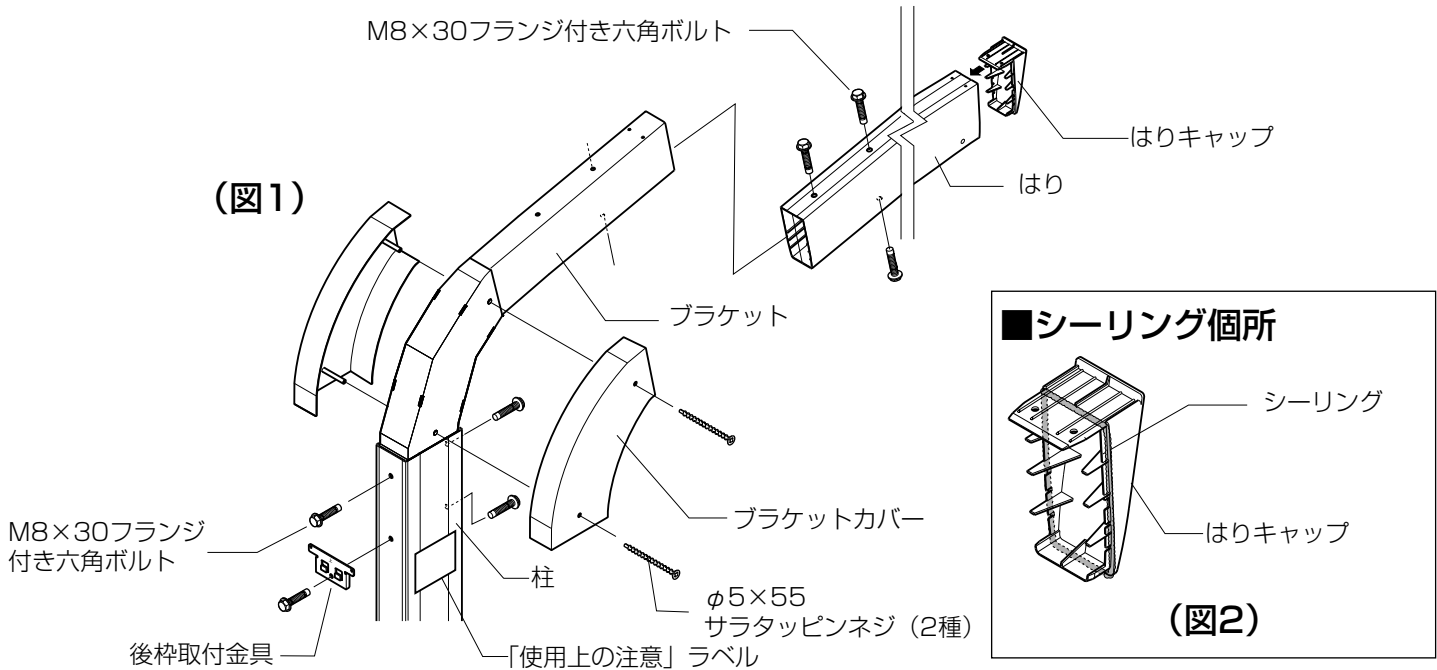
※柱の移動は±100mm以内です。
※〈　〉内寸法は30サイズの場合を示します。

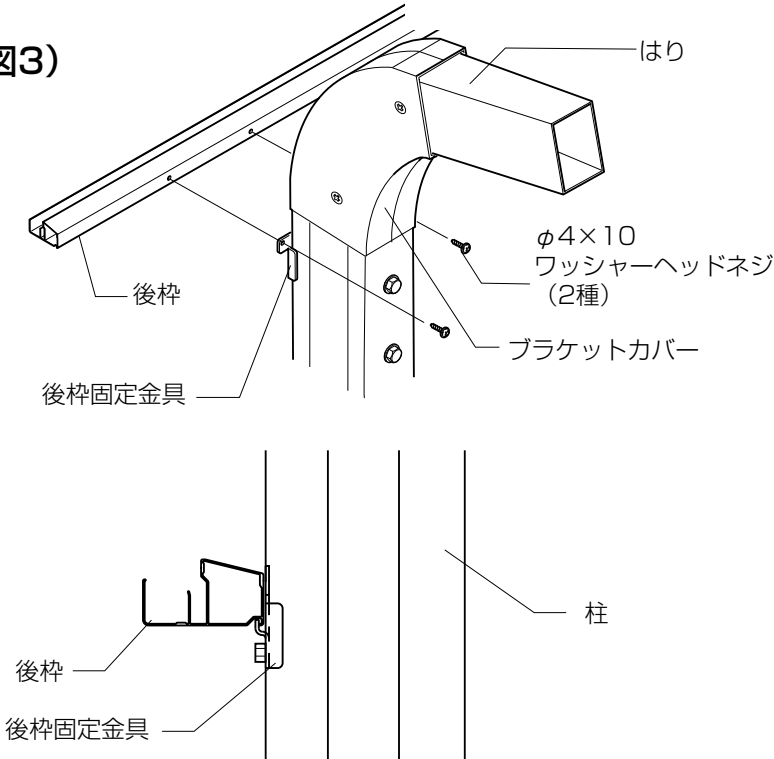
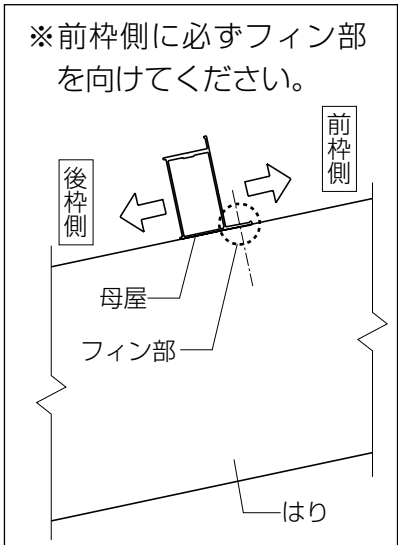
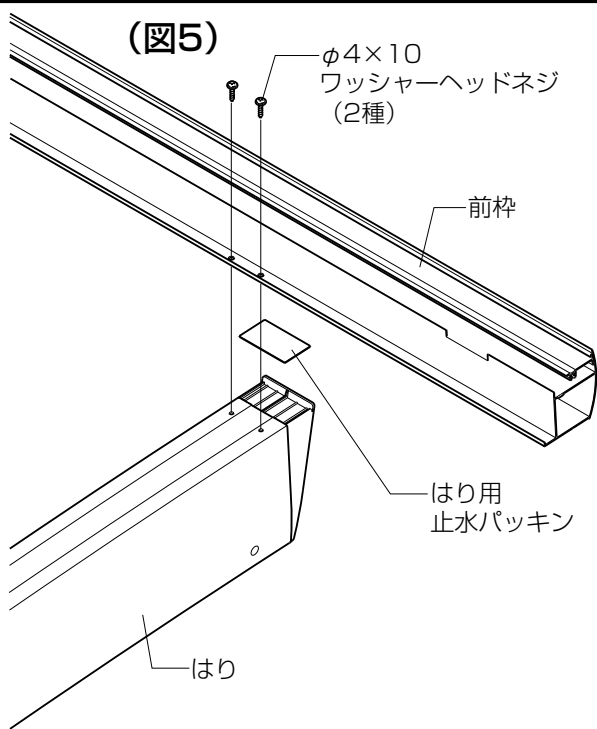
サイズ呼称	d	dA	A
24	2400	2233	167
27	2700	2533	167
30	3000	2833	167

単位mm

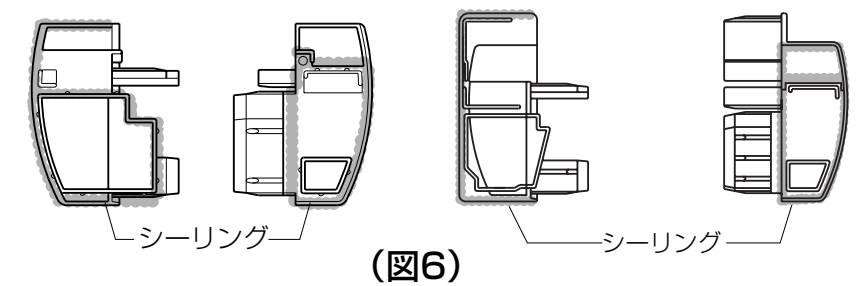
●50サイズ

●57サイズ

※図の二点鎖線は屋根の投影図を示す。

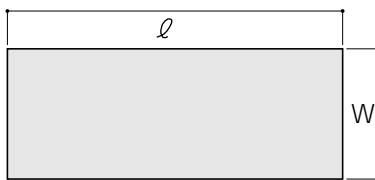
2 柱とはりの取付け

①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建て込みます。
②はりをブラケットに取付けます。（図1）
③ブラケットカバーを取付けます。
④はりキャップにシーリング材を充てんし（図2）、はりに取付けます。
※はりキャップは必ず前枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。
※ブラケットを柱に固定する際、後枠取付金具を共締めしてください。
※「使用上の注意」ラベルが貼ってある柱にたてどいセットを取付けると、表示が見えなくなります。たてどいセットの取り付けない側に表示ラベルを向けてください。

3 前枠・母屋・後枠の取付け

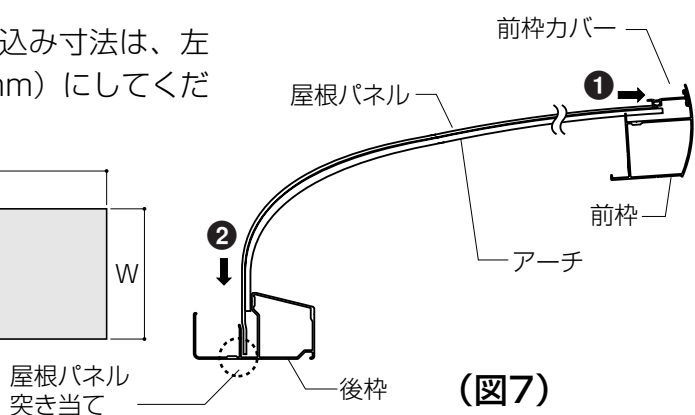
①後枠を後枠固定金具に引っ掛け、固定します。（図3）
②前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図4)
③はりの先端に止水パッキンを取付け、前枠をはりに取付けます。（図5）
※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋をはりに合わせて後枠はϕ3.5、前枠・母屋はϕ4.5の穴加工を行なってください。
※既存の加工穴には穴ふさぎシールを貼ってください。

4 側枠・アーチの取付け

①前・後枠コーナーキャップにシーリング材を充てんし（図6）、側枠に取付けます。
②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。
③前・後枠・母屋にアーチを取付けます。
④屋根枠まわりの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをします。
※前枠、母屋には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせ、ϕ4×13ナベピアスネジで止めてください。
※後枠には下穴があいています。側枠・アーチの穴と合わせ、ϕ4×13ナベピアスネジで止めてください。

(図6)

5 屋根パネルの取付け

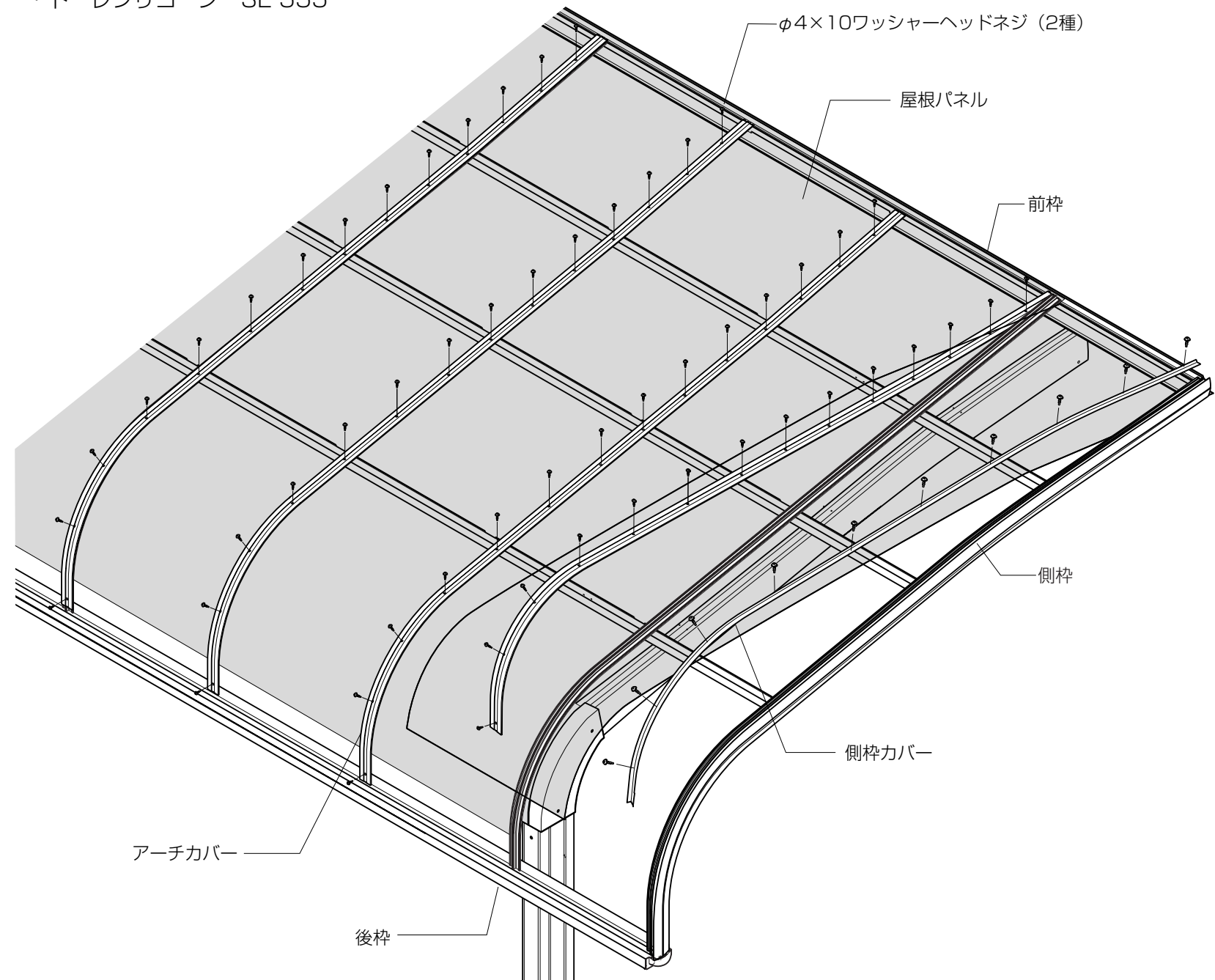
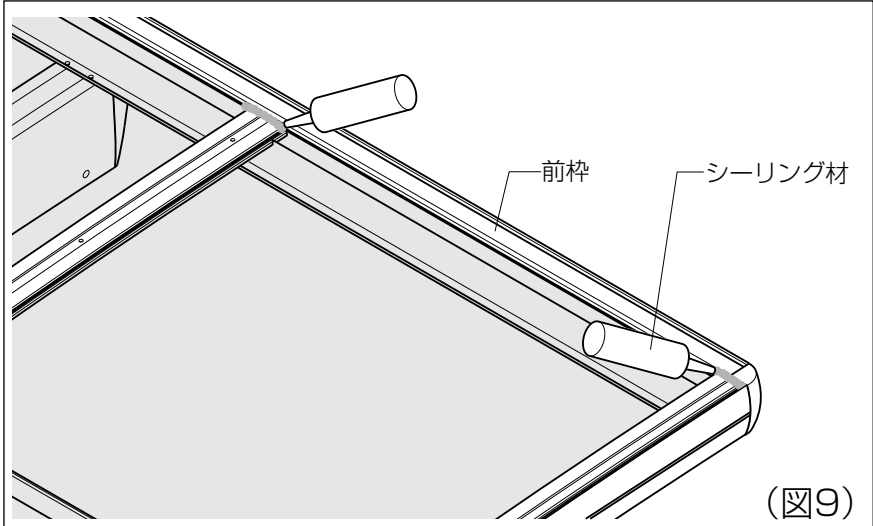
①屋根パネルを前枠カバーに差し込み、後枠のフィンの内側に差し込んでください。（図7）
※屋根パネルは後枠側に突き当ててください。
※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等（16.5mm）にしてください。

■屋根パネル寸法表 単位mm

サイズ呼称	ℓ	W
24	2799	689
27	3105	
30	3428	

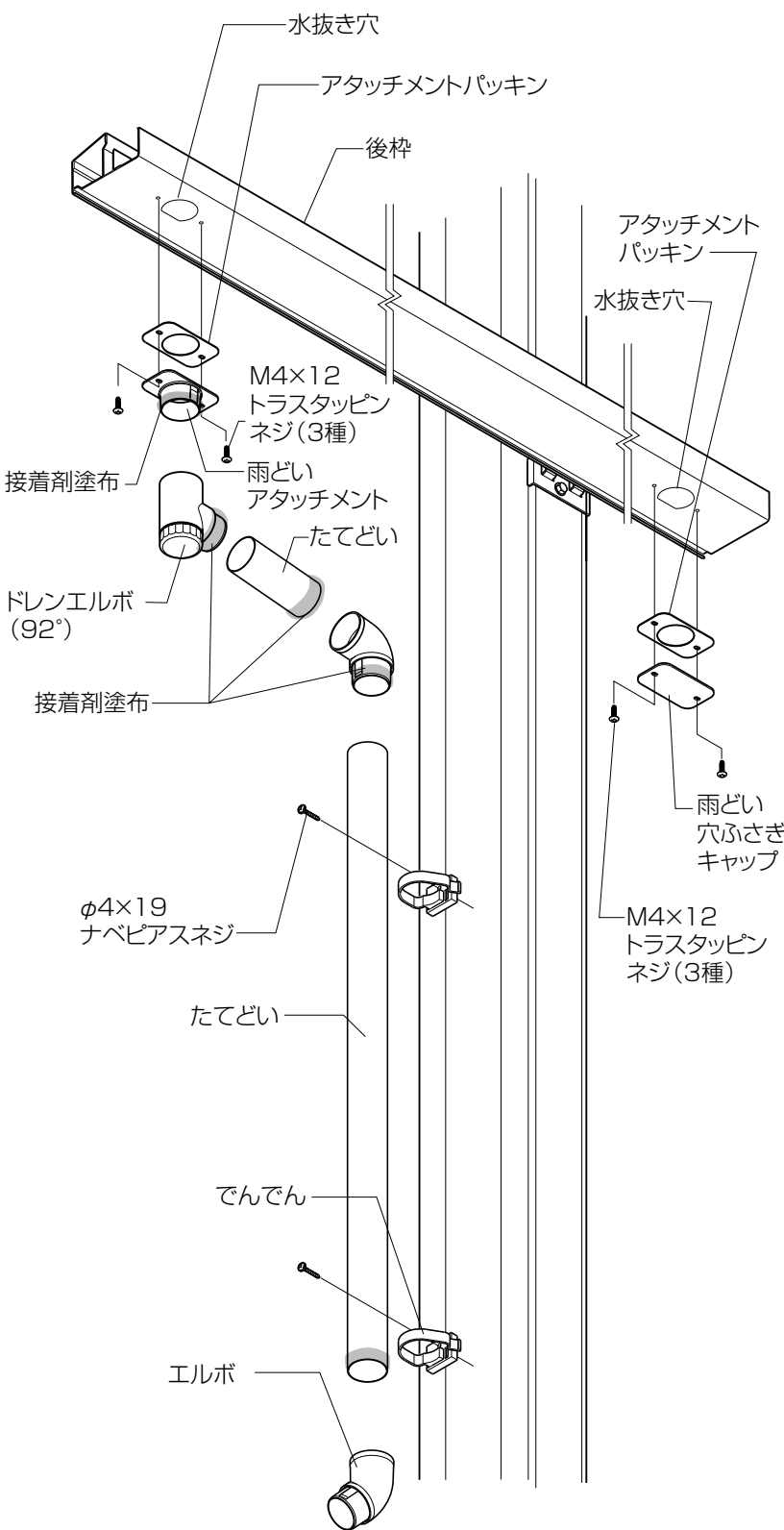
(図7)

6 アーチカバーの取付け

①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てます。
②前枠側から屋根パネルにネジ止めします。（図8）
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
③前枠との間にシーリング材を充てんします。（図9）

※指定の箇所に必ずシーリングしてください。
※シリコンシーリングを行なう場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。
・信越化学工業　シーラント72
・東芝シリコーン　トスシール380
・トーレシリコーン　SE 555

(図9)

(図8)

7 たてどいセットの取付け

①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方にたてどいセットを取付けます。（図10）
②もう一方の穴に雨どいアタッチメント（穴ふさぎ）を取付けます。

(図10)

■M合掌の取付け

1 基礎の施工

①柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。

※〈 〉内の寸法は30サイズの場合を示します。

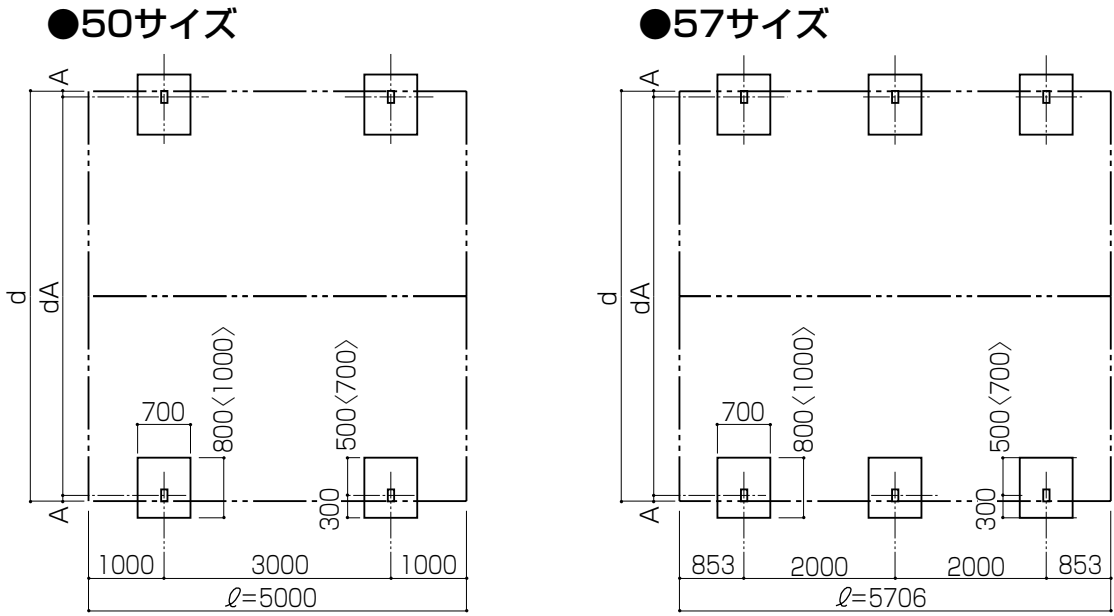
単位mm

サイズ呼称	d	dA	A
24—24	4814	4480	167
27—27	5414	5080	167
30—30	6014	5680	167

※図の二点鎖線は屋根の投影図を示す。

●50サイズ

A
d
dA
700
800〈1000〉
500〈700〉
300
A
1000 3000 1000
ℓ=5000

●57サイズ

2 本体の組立て

①柱・はりを組み立てて建て込み、はりのプッシュボタンを外した後、はりとはりをはり連結金具で接続します。（図1）

②M・Y合掌棟木を前枠と前枠の間にのせ、M合掌カバーで固定します。（図2）

③M合掌キャップを取付けます。(図3)

※M合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。

※基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。（図4）

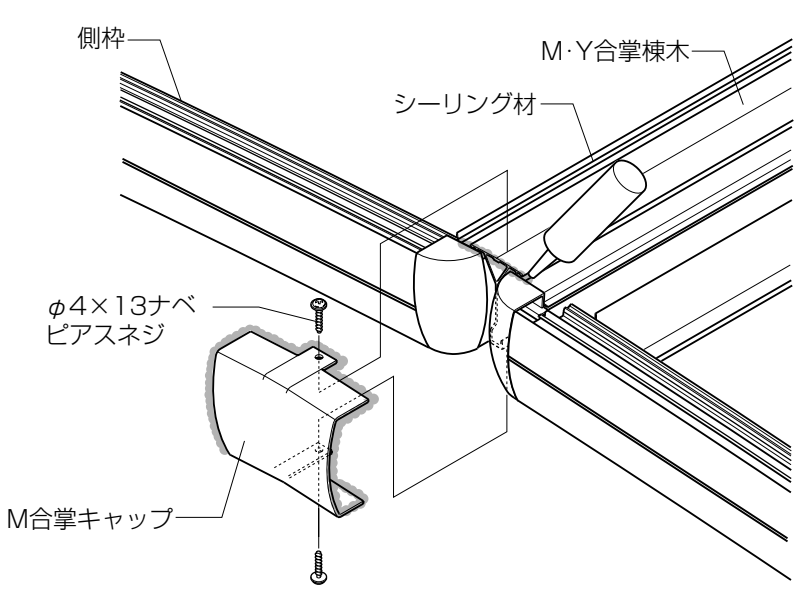
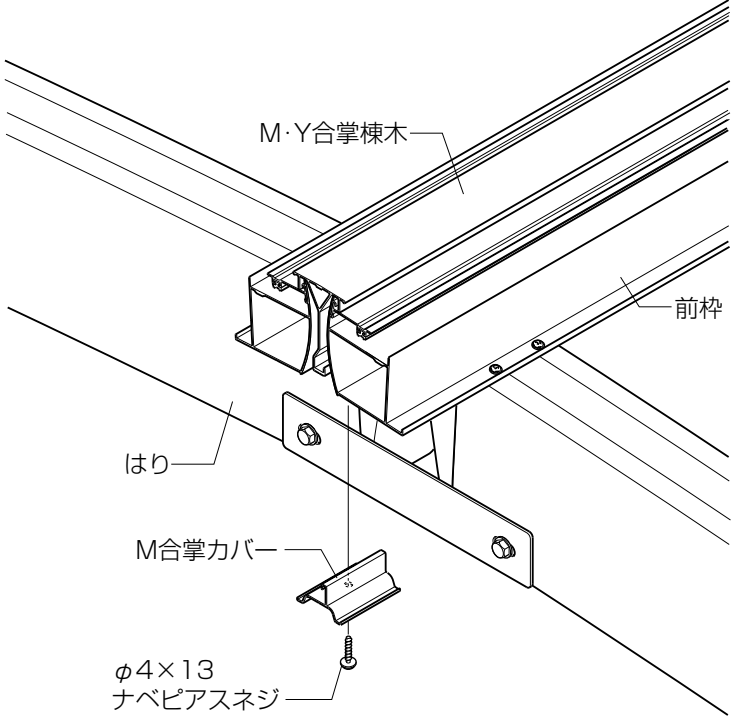
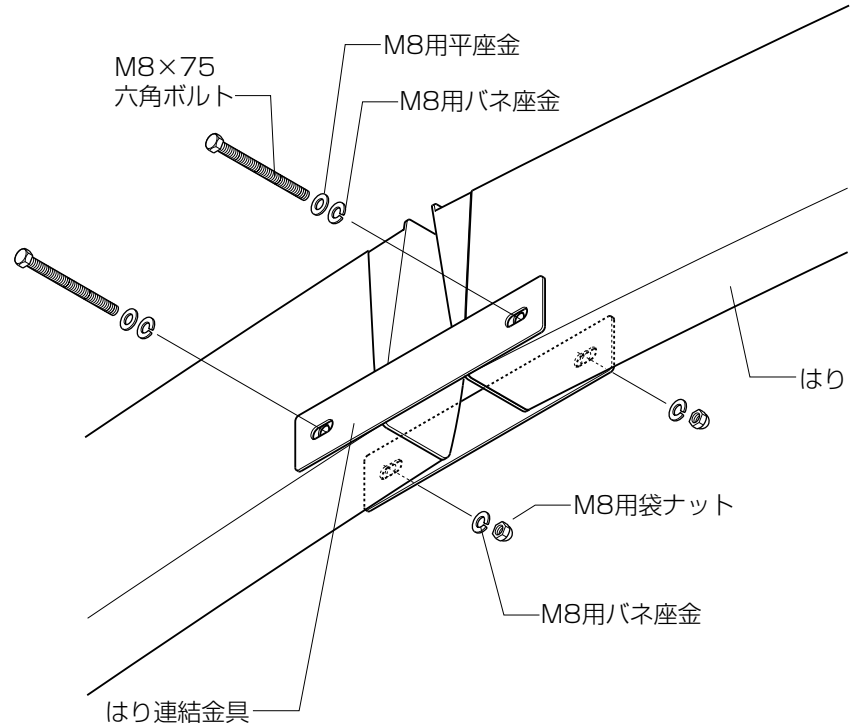
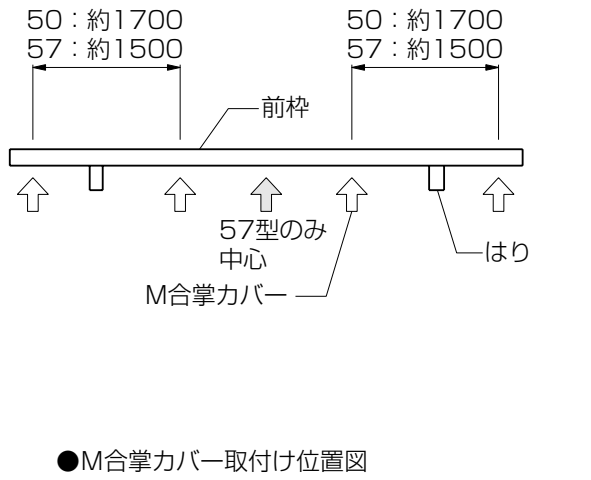
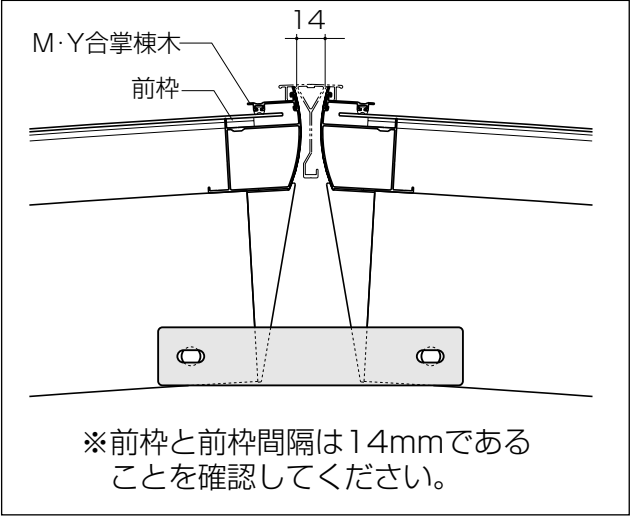
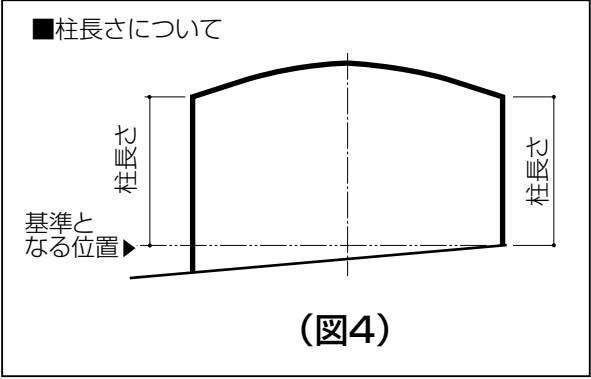
（図4）

※前枠と前枠間隔は14mmであることを確認してください。

●M合掌カバー取付け位置図

（図1）

（図2）

※キャップ固定後、回りにシーリングしてください。

（図3）

■縦連棟の取付け

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

※基礎構造については基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。

※〈 〉内の寸法は30サイズの場合を示します。

単位mm

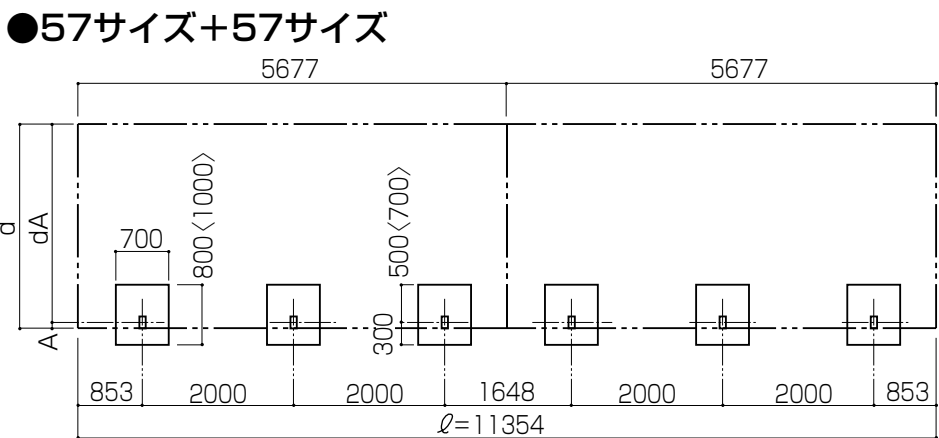
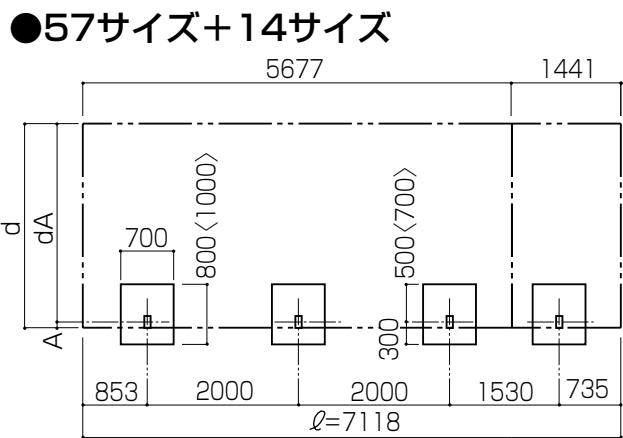
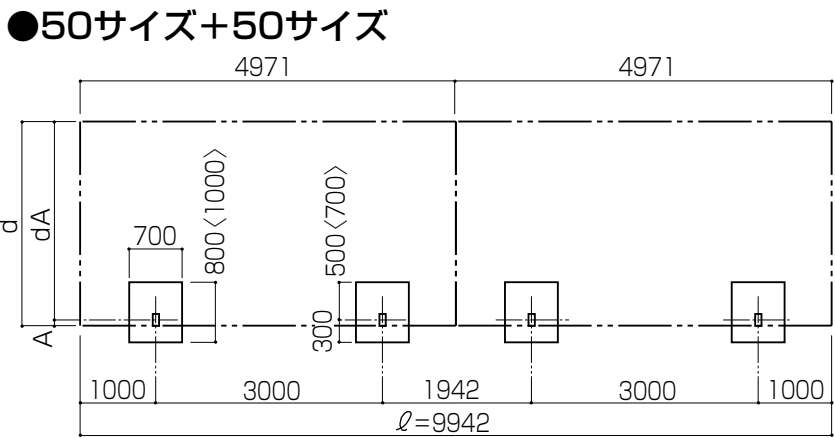
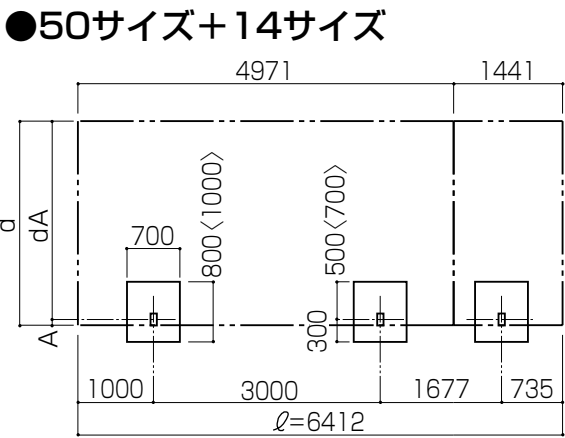
サイズ呼称	d	dA	A
24	2400	2233	167
27	2700	2533	167
30	3000	2833	167

※図の二点鎖線は屋根の投影図を示す。

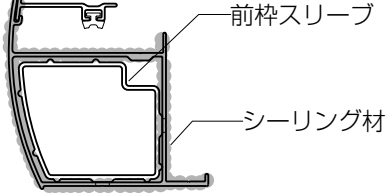
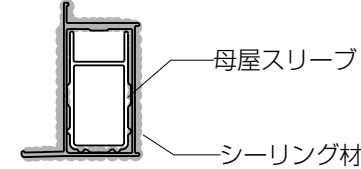
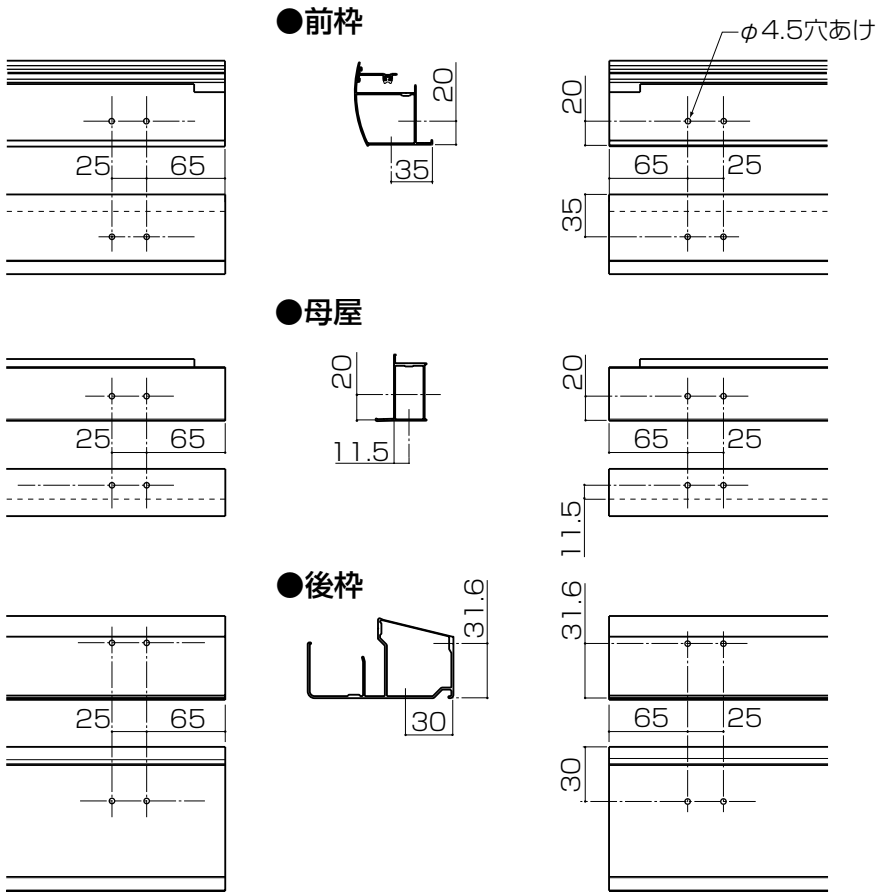
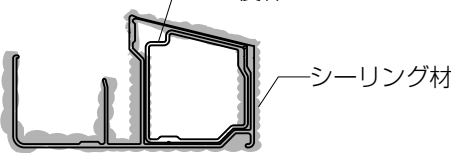
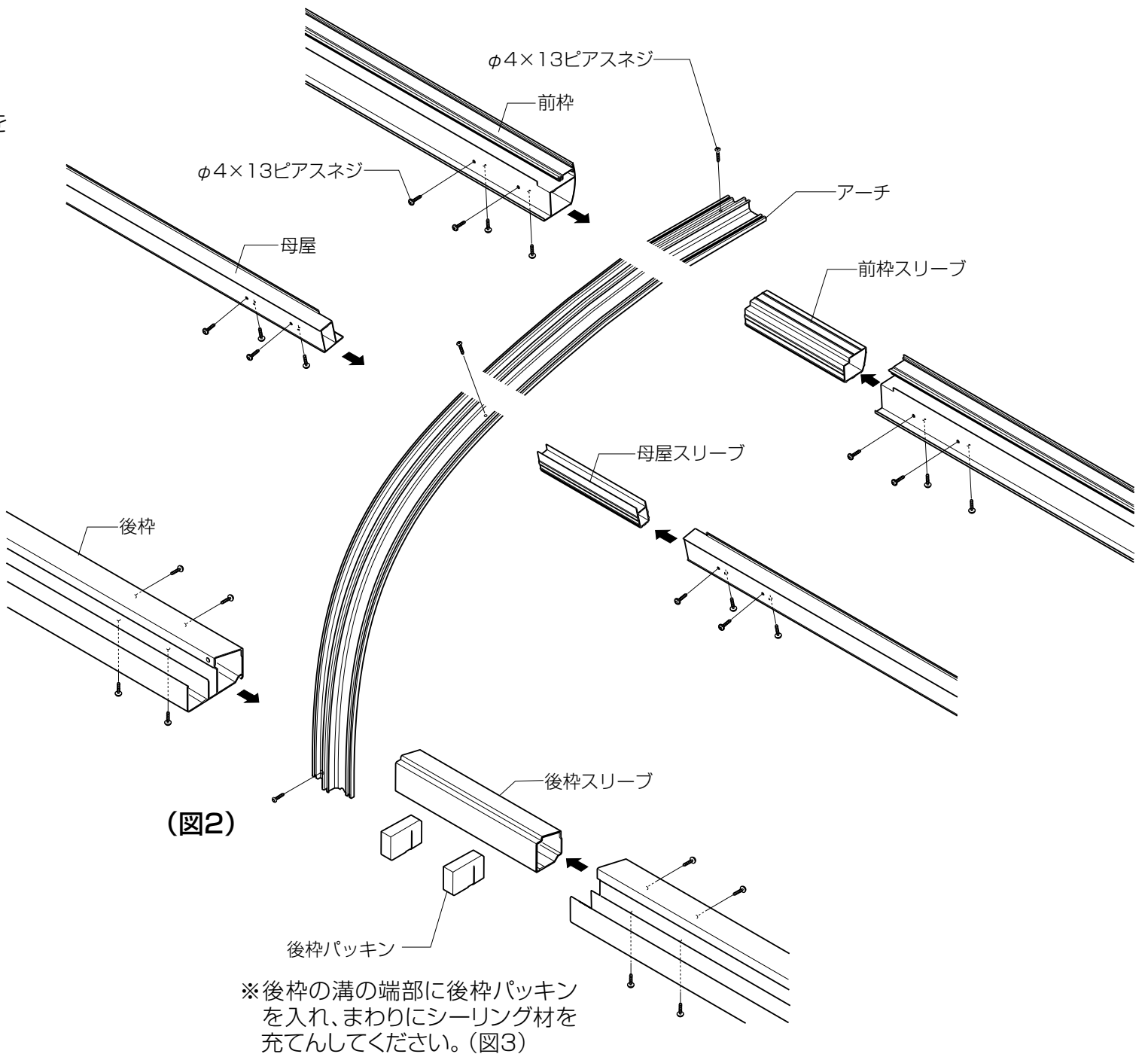
●50サイズ＋14サイズ

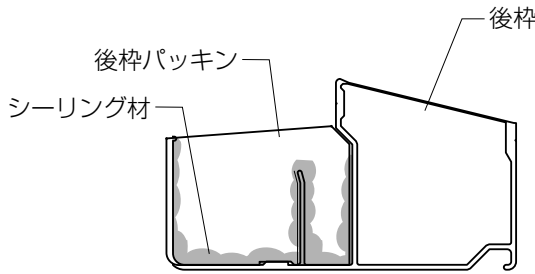
●50サイズ＋50サイズ

●57サイズ＋14サイズ

●57サイズ＋57サイズ

■縦連棟の取付け

2 本体の組立て

①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。（図1）
②連棟部分を組み立てます。（図2）
※連棟部分にシーリング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。
※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

（図1）

（図2）

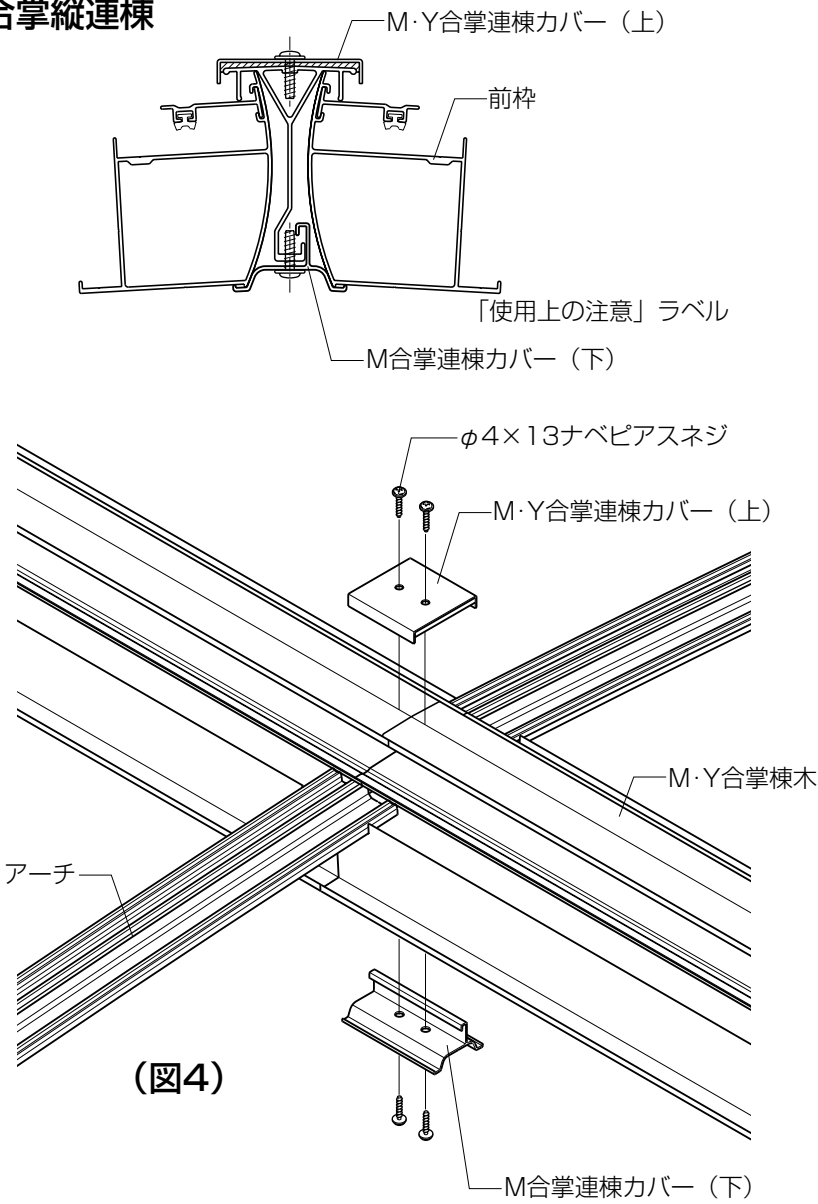
※後枠の溝の端部に後枠パッキンを入れ、まわりにシーリング材を充てんしてください。（図3）

（図3）

3 M合掌の縦連棟

①M合掌の棟木の接続部に、M合掌縦連棟カバー（上）、（下）を取付けます。（図4）
※連棟部以外の取付けは、M合掌の取付けを参照してください。

■M合掌縦連棟

M･Y合掌連棟カバー（上）
前枠
「使用上の注意」ラベル
M合掌連棟カバー（下）

φ4×13ナベピアスネジ
M･Y合掌連棟カバー（上）
M･Y合掌棟木
アーチ
M合掌連棟カバー（下）

（図4）

4 落雪カバーの取付け　＜オプション＞

①落雪カバーの両端に落電カバーキャップを差し込みます。
②アーチカバーの上に落雪カバーを置き、位置を決めます。
③落雪カバーをアーチカバー、側枠カバーに固定します。
※落雪カバーがアーチカバー取付ネジと干渉する場合は、アーチカバー取付ネジを取外してください。

■参考納まり図

●基本タイプ

サイズ	d	h	A
２４	２４００	２１４７．８＜２６４７．８＞	８００
２７	２７００	２２１１．６＜２７１１．６＞	８００
３０	３０００	２３３９．７＜２８３９．７＞	１０００

※本図は h＝18サイズ゛を示す．ロング柱仕様は＜　　＞に示す．

●M合掌

サイズ	d	h	H	A	B
２４－２４	４８１４	２１４５．１＜２６４５．１＞	２３５５＜２８５５＞	８００	４４８０
２７－２７	５４１４	２２０８．９＜２７０８．９＞	２４１８．８＜２９１８．８＞	８００	５０８０
３０－３０	６０１４	２３３６．７＜２８３６．７＞	２５４６．７＜３０４６．７＞	１０００	５６８０

●縦連棟

※本図は L=50サイズを示す。L=57サイズは〔　〕に示す。

●断面図

※本図はd=24サイズを示し、d=27サイズは（　）
d=30サイズは（（　））に示す。

● オーバードアと施工される場合

＜注　意＞

- オーバードアを桁下に施工される場合は、ロング柱を使用してください。
- オーバードア本体が、フリーポートの柱外側から100㎜内側に入った位置で下記表寸法を設定しています。
- Ａ寸法は雨樋の桁下寸法ですが、オーバードアは雨樋桁下ではなく、桁下を避けた屋根下に納まります。

	円昇タイプ								直昇タイプ				
	標　準				ハイルーフ				標　準				ハイルーフ
	H:10		H:12		H:10		H:12		H:10		H:12		施工不可（桁下からずらして施工してください。）
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	
レギュラータイプ	1541	150	1581	350	1839	100	1845	200	1684	250	1774	450	
ワイドタイプ	1541	150	1581	350	1839	100	1845	200	1684	250	1774	450	

■梱包明細書

1 柱セット

名　　称	員数			
	2本入	3本入	ロング2本入	ロング3本入
柱	2	3	−	−
ロング柱	−	−	2	3
取扱説明書	1	1	1	1

2 梁セット

名　　称	員数	
	2本入	3本入
梁	2	3

3 竪樋セット

名　　称	員数
竪樋（L＝3100 φ40）	1

4 ブラケットセット

名　　称	員数	
	1本入	2本入
ブラケット	1	2

5 幅セット

名　　称	員数	
	50型	57型
側枠　R・L	各1	各1
側枠カバー　R・L	各1	各1
アーチ	6	7
アーチカバー	6	7

6 連棟用幅セット

名　　称	員数		
	50型	57型	14型
アーチ	7	8	2
アーチカバー	7	8	2

7 長さセット

名　　称	員数					
	50型		57型		14型	
	24・27型	30型	24・27型	30型	24・27型	30型
前枠	1	1	1	1	1	1
後枠	1	1	1	1	1	1
母屋	3	4	3	4	3	4
竪樋（L＝3100 Φ40）	1	1	1	1	−	−

8 部品セット

名　　称		員数		
		レギュラー		
		50型	57型	14型
前枠コーナーキャップ　R・L		各1	各1	−
後枠コーナーキャップ　R・L		各1	各1	−
梁キャップ		2	3	1
梁用止水パッキン		2	3	1
ブラケットカバー　R・L		各2	各3	各1
後枠取付金具		2	3	1
M8×30 フランジ付六角ボルト		14	21	7
φ5×55 サラネジ		4	6	2
φ4×10 ワッシャーヘッドネジ		136（164）	160（193）	42（48）
φ4×13 ピアスネジ		42（50）	47（56）	12（14）
アンカー棒		2	3	1
コーキング材		1	1	1
孔隠しシール		20（24）	30（36）	10（12）
雨樋セット	雨樋アタッチメント	1	1	1
	孔ふさぎキャップ	1	1	1
	アタッチメントパッキン	2	2	2
	ドレンエルボ　φ40用	1	1	1
	ドレンエルボキャップ	1	1	1
	ドレンエルボパッキン	1	1	1
	92度エルボ　φ40用	2	2	2
	でんでん	2	2	2
	φ4×12 トラスネジ	4	4	4
	φ4×19 ピアスネジ	2	2	2
	接着剤	1	1	1
取付説明書		1	1	−

※（　）内は間口30型

■梱包明細書　つづき

9 M・Y合掌棟木セット

名　　称	員 数
M・Y合掌棟木	1

10 M合掌部品セット

名　　称	員 数		
	50型	57型	14型
M合掌カバー材（下）	4	5	2
M合掌キャップ	2	2	–
梁連結材	4	6	2
M8×75　六角ボルト	4	6	2
M8用平座金	8	12	4
M8用バネ座金	4	6	2
M8用袋ナット	4	6	2
φ4×13　ピアスネジ	8	9	2

11 M合掌連棟部品セット

名　　称	員 数
MY合掌縦連棟カバー材（上）	1
M合掌縦連棟カバー材（下）	1
φ4×13　ピアスネジ	4

12 屋根材セット

名　　称	員 数	
	3枚入	4枚入
屋根パネル	3	4

13 連棟部材セット

名　　称	員 数	
	24・27用	30用
前枠スリーブ	1	1
後枠スリーブ	1	1
母屋スリーブ	3	4
後枠パッキン	2	2
φ4×13　ピアスネジ	42	50

14 落雪カバーセット

名　　称	員 数		
	50用	57用	14用
落雪カバー	1	1	1
落雪カバーキャップ	2	2	1
φ5×13　ピアスネジ	19	19	4

取説コード
Z077
200101A
200205B_1007